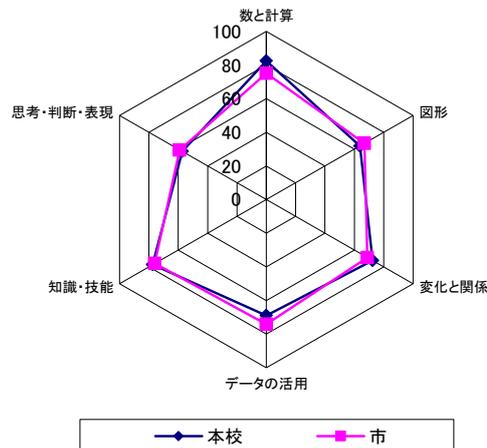


# 宇都宮市立東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	82.4	75.1	75.8
	図形	63.8	66.8	68.3
	変化と関係	72.4	68.8	65.0
	データの活用	69.0	74.1	63.6
観点別	知識・技能	77.4	76.1	75.8
	思考・判断・表現	57.3	59.0	51.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、82.4%であり、市の平均を7.3P上回っている。</p> <p>○少数の計算や文字の式においては、市の平均を上回っている。</p> <p>●真分数+真分数=仮分数(帯分数)で、片方の分母にそろえる通分をする計算においては、平均正答率が、市の平均を4.6P下回っており、課題が見られる。</p>	<p>・分母をそろえて通分して計算する問題を繰り返し練習する必要がある。</p>
図形	<p>平均正答率は63.8%であり、市の平均を3P下回っている。</p> <p>○正六角形の作図方法から、円の中心のまわりにできる角の大きさを求めたり、見取図の辺の長さを読み取ったりする問題は、市の平均を上回っている。</p> <p>●角柱の体積を求める問題や線対称かつ点対称な図形を選ぶ問題は市の平均を10P以上下回っており、課題が見られる。</p>	<p>・図形の公式を暗記させるだけでなく、公式の意味を正しく理解したり、公式に至るまでの過程を確認したりする指導を行っていく。</p> <p>・線対称や点対称の学習の際には、実際に紙を切ったり、折って開いたりするなど実体験を基にした指導を行うことで、頭の中でイメージできるようにしていく。</p>
変化と関係	<p>平均正答率は、72.4%であり、市の平均を3.6P上回っている。</p> <p>○基準量と比較量から、割合を求める設問は、市の平均を11.7P上回っている。</p> <p>●割合の円グラフを読み取る設問では、4P下回っており、課題が見られる。</p>	<p>・割合を求めることはできているが、どちらが混んでいるかを比べるのに課題があるので、身近な場面設定や想像しやすい場面を提示し比較できるようにしていく。</p> <p>・円グラフの読み取りでは、目盛りを正確に読みとれるように指すだけでなく、どんなことが読み取れるのかデータの特徴や傾向を読み取れるよう指導していく。</p>
データの活用	<p>平均正答率は69.0%であり、市の平均を5.1P下回っている。</p> <p>●平均・データの見方の問題では、ほとんどの問題で市の平均を下回っており、課題が見られる。</p>	<p>・代表値を求める問題において、まず平均値、中央値、最頻値などそれぞれの代表値がどのような意味を持つのか、どのように求めるのかを明確にしていく。また、身近な事象を題材として代表値を求める等、実感を伴う問題にも取り組ませ確実に定着するよう指導を行っていく。</p> <p>・図形の面積を求める場合に限らず、問題から立式した際に思考の流れを文章化する指導を繰り返し行い、論理的思考力を身に付けさせる。</p>